

映画製作 プロセスセミナー



会場 | ① オンライン ② VIO●
(若干名ご招待)

定員 100名 | 参加無料
参加は申込フォームより

2026年

(終了予定)

10/20 (火) 18:00~20:00

映画の製作・制作ワークフロー / 宣伝戦略 / Q&A

講
師

映画プロデューサー 小西啓介氏

宣伝プロデューサー 福田紘子氏

(ハビネットファントム・スタジオ)



映画プロデューサー 小西啓介

日本の映画プロデューサーであり、映画レーベル、ハビネットファントム・スタジオの責任者を務める。2003年に㈱ファントム・フィルムを設立し、邦画の企画製作や洋画の買い付け・配給に携わる。2017年にはアカデミー賞作品賞を受賞した『ムーンライト』(16)を日本に紹介し、その眼識と手腕が高く評価される。

近年はプロデュースを手掛けた『Plan 75』(22)『ナミビアの砂漠』(24)『ルノワール』(25)『TITANIC OCEAN』(26)の4作品が連続でカンヌ国際映画祭に選出、その他にも『敵』(24)『箱男』(24)など多彩な作品をプロデュース。若手クリエイターの発掘や国際共同製作にも積極的に取り組み、日本映画界と海外をつなぐ存在として注目されている。

企画立ち上げから撮影、ポストプロ、宣伝、興行、二次利用
各工程を解説する講義形式のセミナーです。

映画が生まれ、観客のもとへ。
その全ステップを紐解く！

映画が
あなたに
届くまで

福田紘子 宣伝プロデューサー

2014年ファントム・フィルムに入社。映画業界未経験でも採用されたことに、「勇敢な会社だ！」と驚く。右も左も分からないところから、映画宣伝パブリシストとして経験を積み、邦画・洋画問わず、ひたすら売り込む日々を送る。エンドロールに自分の名前がある喜びを感じる。パブリシティを担当した主な作品に『ムーンライト』『キャロル』『君の名前で僕を呼んで』『お父さんと伊藤さん』『アズミ・ハルコは行方不明』など。2017年『勝手にふるえてろ』より、宣伝プロデューサーに。時に泣いて、時に笑って現在に至る。

ndjc2020「長編映画の実地研修」完成作品『梅切らぬバカ』の宣伝プロデューサーを手掛けたことがきっかけで、今回のような大役を仰せつかる。直近の担当作品『ドラマなふたり』。

お問合せ | 映画スタッフ育成事務局 (VIO)

✉ intern@cinema-intern.bunka.go.jp
🌐 https://cinema-intern.bunka.go.jp

VIO● Visual Industry Promotion Organization
特定非営利活動法人 映像産業振興機構
東京都中央区築地 4-1-1 東劇ビル2F

お申込は
こちら

締切: 10/18(日)



お申込みの際に
ご希望の参加会場を
お知らせください。